

## 平成27年度9月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成27年9月1日（火）午前10時10分～10時45分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ6社

会見内容

### 1. 話題提供（6項目）

#### 1. 釧路大漁どんぱくの開催について

- 最初の話題は、釧路の秋の幕開けを告げる一大イベント「釧路大漁どんぱく」についてです。
- 花火があがる「どん」という音と、おいしいものを「ぱく」と食べて楽しむことから名づけられた 花火と食の祭典は、今年で12回目を迎えます。開催期間は、9月4日（金）から6日（日）までとなります。
- 市民はもとより、釧路内外から多くの観光客が足を運び、昨年度は期間中に合計3万7千1,600名の方が来場しました。
- 9月3日（木）、前夜祭である「釧路すえひろはしご酒大会」を皮切りに、観光国際交流センターを会場として行われる釧路の味覚PRイベント「いい味 イキイキくしろ」、酪農・農業PRイベント「農業・農村フェア イン クシロ」などが開催されます。
- さらに、副港市場マリン・トポステ設会場で行われる「釧路Oh!!さかなまつり」など、釧路大漁どんぱくに関連して 様々なイベントが開催されます。
- また、9月5日（土）午後7時から、北海道最大で唯一の3尺玉の大花火や大規模な仕掛花火ナイアガラを始めとする、華麗な花火が夜空を彩る花火大会が開かれ、この後「話題2」でお話します、姉妹都市提携50周年迎えカナダ・バーナビー市の訪問団の皆様ほか、内外の方々が釧路にいらっしゃる予定となっております。
- 豊かな自然に恵まれた釧路の魅力を、イベントを通じ、さらに全国に発信していきたいと思えます。

#### 2. 姉妹都市バーナビー市訪問団の来釧について

- 次に話題2です。いよいよ明後日3日から6日までの日程で、カナダのバーナビー市からコリガン市長をはじめ総勢26名の訪問団が来釧されます。
- 訪問団の皆様は、9月3日（木）午後6時40分に、たんちょう釧路空港に到着さ

れますので、取材方、よろしくお願いいたします。

- 訪問団の日程については、9月4日（金）午前9時10分から議場で行われる歓迎式典のあと、バーナビー市のスパーリング小学校と交流のある釧路市立中央小学校を訪問いたします。
- その後、阿寒湖畔を訪問し、床ヌブリさんがバーナビー市の釧路公園に制作したカムイミンタラと太平洋を挟み向かい合って立っている、阿寒湖アイヌコタンのカムイ・ニ（アイヌ語：神の木）を視察し、イコロで上演されるアイヌ古式舞踊の見学をする予定であります。また、夜には、釧路市主催の歓迎レセプションを開催いたします。
- 9月5日（土）は、街中散策で釧路大漁どんぱく等を楽しんでいただき、バーナビー市主催のレセプションのあと、どんぱくステージでの訪問団紹介と釧路大漁どんぱく花火大会の観覧を予定しております。
- バーナビー市と釧路市は姉妹都市として、半世紀にわたり友好関係を築き上げてまいりました。今後、さらに市民交流の輪が広がり、両市の友好関係が次の世代へと引き継がれていくことを期待しているところであります。

### **3. 男女平等参画センターのオープンについて**

- 次に話題3です。釧路フィッシャーマンズワープMOO3階に、今月24日木曜日から、釧路地域における男女平等参画推進の拠点となる「釧路市男女平等参画センター」を開設いたします。
- このセンターの事業内容といたしましては、男女平等参画に関する情報の収集と提供、学習機会の提供や啓発、相談対応、市民活動や交流の支援などを行います。
- 公募しておりましたセンターの愛称につきましては、全国60名の方々から143件の応募をいただき、その中から、「ふらっと」に決定いたしました。英語で「平ら」の意味を持ち、平等をイメージすることができ、「ふらっと」立ち寄っていただきたいということから、選定したものであります。
- 開館時間は、火曜日から金曜日が午前10時から午後7時まで、土曜日・日曜日が午前10時から午後5時までで、休館日は月曜日・祝日と12月31日から1月5日までとしております。
- オープンに先立ち、9月19日土曜日、午後1時からセンターの開設場所のフィッシャーマンズワープMOO3階で、開設式典を執り行います。

- また、同日午後3時より、釧路センチュリーキャッスルホテルにおきまして、東レ経営研究所部長の渥美 由喜（あつみ なおき）氏をお招きし、記念講演会を開催いたします。
- 渥美氏につきましては、国内でも有数の少子化対策・ワークライフバランスの専門家であり、内閣府 少子化危機突破 タスクフォース 政策推進チームリーダー、厚生労働省 政策評価に関する 有識者会議委員なども務めておいでです。
- このセンターが男女平等参画推進の拠点としてしっかり機能し、多くの市民の皆様にご利用していただけるような場となるよう努めてまいります。

#### 4. 楽天包括協定事業「旅頃」について

- 次に、楽天株式会社との包括協定事業「旅頃」についてです。
- 平成26年11月13日付で楽天株式会社と締結した連携及び協力に関する協定に基づき、楽天トラベル「旅頃」に釧路市の特設ページを9月7日（月）から11月29日（日）の12週にわたって開設することとなりました。
- この「旅頃」は楽天トラベルで地域活性化プロジェクトと題し、各都道府県や市町村とのタイアップによるご当地の特集ページであり、インターネット上の閲覧数が多い楽天トラベルと協力することにより、観光客の閑散期対策や観光客誘致による外貨獲得に有効だと考えております。
- 内容としては、釧路湿原・阿寒湖畔・夕日・食の4つを大項目として掲載しております。「釧路湿原」は、国立公園釧路湿原の魅力、特別天然記念物タンチョウやその他の動物、カヌーやノロッコ号の話題など、「阿寒湖畔」は、温泉、特別天然記念物阿寒湖のマリモ、イオマンテの火祭りの情報など、「夕日」は、世界三大夕日である釧路港に沈む夕日や、その撮影スポットなど、「食」は、釧路発祥の炉端焼き、くしる夕日ハイボール、ザンギなどとなっております。
- この特設ページの特徴は、釧路市内のホテルや飛行機、レンタカーなどの予約をこのページからできることであり、大変便利なシステムとなっております。  
観光客の方々への有効な宣伝となり、来ていただいた方々に釧路市を満喫してもらいリピーターとなっていただき、釧路市の入り込みが増加すると考えております。

#### 5. プレミアム旅行券について

- 次に話題5です。観光の閑散期となる下半期の対策として、国の交付金を活用し、釧路市全域で、観光客が宿泊施設、観光施設や飲食店等で利用できるプレミアム付き旅行券を8月24日（月）から販売を開始いたしました。

- プレミアム旅行券は、販売額2,000円(利用額3,000円)を15,000枚、販売額6,000円(利用額9,000円)を10,000枚、販売する予定となっており、資料に記載のとおりコーチャンフォー、JTB北海道、主に道外のコンビニエンスストアで販売しております。
- 旅行券の利用時期については、観光閑散期となる平成27年9月24日(木)から平成28年2月29日(月)となっており、釧路市内での利用可能な店舗は、8月30日現在で、宿泊施設、観光施設、飲食店、物販施設、交通機関等など128店舗となっております。
- プレミアム旅行券を使って釧路にお越しいただき、観光客誘致と消費拡大により、地域活性化に繋げるとともに、「また、この街に来たい」と思っており、居心地のよい、様々なおもてなしや情報の発信などによるリピーターづくりに繋がるよう期待しております。

## 6. ネイチャーズベストフォトグラフィーコンテスト準グランプリ受賞記念「安藤誠の世界」写真展・トークライブについて

- 最後の話題になりますが、ネイチャーズ ベスト フォトグラフィーコンテスト準グランプリ受賞記念「安藤 誠の世界」写真展・トークライブについてです。
- 安藤 誠氏は、鶴居村でウィルダネスロッジ「ヒッコリーウインド」を営みながら、釧路湿原周辺のガイドやアラスカツアーの企画など自然ガイドのプロとして活躍されております。
- この度、安藤 誠氏が撮影した写真が、アメリカのネイチャーズ ベスト フォトグラフィーコンテストで準グランプリを受賞し、スミソニアン国立自然史博物館に1年間展示されることになりました。
- 釧路市では、これを記念して9月24日(木)から防災庁舎1階多目的ホールにおいて、安藤 誠氏の写真展を開催し、あわせて、同じ日(24日)の午後6時からトークライブを実施します。
- 世界から高く評価される安藤さんの活躍は、この地域全体にとって、地域の良さを再認識し、地域に活力を生み出すものであると思います。是非、この機会に安藤さんの作品に触れていただければと思います。

## 2. 質疑要旨

(質問)

- ・ プレミアム旅行券についてですが、8月24日以降の販売枚数は何枚でしょうか。

(観光振興室長補佐)

- ・ 多くの場所で販売しているため、まだ集計できていない状況です。販売の出だしは、上々と聞いています。

(市長)

- ・ 利用開始となる9月24日に向けて是非とも市内の店舗等は、おもてなしの準備をしていただきたいと思います。

(質問)

- ・ 道外のコンビニエンスストアの販売エリアは決まっていますか。

(観光振興室長補佐)

- ・ 釧路市外であれば、全国で購入できます。道外では、主なコンビニエンスストアで購入できます。道内では、基本的に外貨獲得を目的としているため、釧路エリア以外で展開しているコンビニエンスストアで販売しています。

(質問)

- ・ バーナビー市訪問団の26名の件ですが、バーナビー市長以外の訪問者の方のお役職を教えてください。

(交流推進主幹)

- ・ コリガン市長、全市議会議員8名のうちの5名の市議会議員、市の幹部、日本でいうところの観光協会の専務。商工会議所の会頭、教育委員長の方などの来釧を予定しています。

(質問)

- ・ 9月は、まちづくり基本条例のPRを行うということで、今日の午後からまちづくり基本条例の啓発活動を行われますが、この啓発期間に臨む意気込みをお聞かせください。

(市長)

- ・ 私が市長就任時から町内会の加入率低下問題があるなかで、地域にどういったコミュニティを作っていくか、また、市の施策をいかに解りやすく市民の皆様へ伝えていくか、「言った」ではなく「伝える」など、いかにまちづくりを、地域と一体的に進めていくかということが一番大事だと考えています。

国や道など様々行政体がある中で、地域にとって市役所が一番大事であり、この地域自らが、いろいろな課題を解決していくんだという風土が大切であろうという課題意識がある中で、2年5か月の議論により、このまちづくり基本条例をまとめてきました。あわせて、どのように地方創生の戦略を進めるのか、地域が一体となるのが、この時期だと考えているところでもあります。各種施策を進める中で、地域の活性化、地方創生を進めながら、また、今までの課題を踏まえながら、PRしていく中で、まちとしての意見を伝えていきたいと考えています。

また、阿寒の温泉で作った石鹸と音別のフキ紙も一緒に配布し、地域の特産を住民の皆さんに知っていただきたいと思います。

(質問)

- ・ 楽天との今後の連携については、どのような連携をイメージしていますか。

(市長)

- ・ 民間は対応速度が速く、いろいろと進めていますので、こういったスピード感を意識しながら、情報収集し、当市の施策を進めていくことが重要だと考えています。

(観光振興室長補佐)

- ・ 予算上はWEB物産展を11月に展開する予定です。話題4の旅頃と連携を図ることも検討しています。

(質問)

- ・ 9月の定例市議会での大きな項目はどんなものと考えていますか。

(市長)

- ・ 重要項目として、まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子。そして、知事と一緒に要請して参りますが、サケ・マス流し網禁止の対応などがあります。

- ・ まち・ひと・しごと創生総合戦略については、昨日の支援会議の中でも様々な意見をいただきましたし、それを踏まえながら議会でも進めてまいりたいと思います。

(質問)

- ・ 総合戦略は昨日の支援会議の中で、委員の方から、総花的だとの意見がありましたが、最後の目玉事業の設定や取捨選択などは、市長が決めるのでしょうか。

(市長)

- ・ 見せ方としてメリハリは必要になると感じています。これまでは、国に対して、補助金を貰える内容にするという計画が中心でしたが、地方版総合戦略は、市民に対するメッセージでもあると言われたことが、大きな意味があると思っています。市民協働の動きを進める中で、市民の皆様へどう伝えていくのが重要だと考えています。